

住宅の省エネルギー性能等の調査 調査票（1／6）

元請けとして供給

- 黄色セルにご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、統計処理を行い、個別の事業者が特定されないようにした上で利用します。

貴社名			社員数		名
ご回答者	貴部署名		お名前		
ご連絡先	郵便番号				
	ご住所				
	TEL		E-mail		

- 貴社が「元請け」として供給した新築住宅についてお伺いします。
- 問1～問4は、2025年4月（省エネ基準適合義務化開始）から現在に至るまでに、「着工した」または「確認申請を提出した」新築住宅についてお伺いします。2025年4月から現在に至るまでに「着工した」または「確認申請を提出した」新築住宅がない場合は、問5に進んでください。

問1-1. 2025年4月からの省エネ基準への原則適合義務化により、着工前に、登録省エネ判定機関による省エネ性能適合性判定（省エネ適判）を受けることが必要になっています。

一方、①仕様基準に基づく設計、②コース1（※1）の場合は省エネ適判を省略できるほか、③コース2（※2）の場合は省エネ適判に係る添付図書を合理化することができます。

2025年4月以降、これらの制度をどの程度活用しているか、ご回答ください。

※1 コース1：設計住宅性能評価、長期優良住宅等計画の認定又は長期使用構造等（以下、「設計住宅性能評価等」といいます。）の確認を受けることによる省エネ適判の省略

※2 コース2：省エネ適判と設計住宅性能評価等を併せて受ける場合の、省エネ適判に係る添付図書の合理化

	戸建住宅のうち		共同住宅のうち （棟数ベース）	
①仕様基準		%		%
②コース1		%		%
③コース2		%		%
④上記①②③の制度の活用なし（性能基準（計算））		%		%

問1-2. 問1-1でご回答いただいた仕様基準・コース1・コース2の活用割合について、適合義務化開始前（2025年4月よりも前）に「適合義務化後のこれらの制度を活用の割合」をどのように想定していたか、ご回答ください。

	戸建住宅のうち		共同住宅のうち （棟数ベース）	
①仕様基準		%		%
②コース1		%		%
③コース2		%		%
④上記①②③の制度の活用なし（性能基準（計算））		%		%

【問2に続きます】

住宅の省エネルギー性能等の調査 調査票（2／6）

元請けとして供給

- 問2. 性能基準（計算）あるいは仕様基準での評価は、どなたが実施していますか。
各評価方法4列について、①～⑨のうち該当する欄に○をご記入ください（○は複数可）。

＜省エネ計算や仕様確認の主体＞	外皮性能 (外皮平均熱貫流率など)		一次エネルギー消費量	
	性能基準 (計算)	仕様基準	性能基準 (計算)	仕様基準
① 自社又はグループ会社で実施				
② 計算コンサルタントに依頼				
③ 設計事務所又は施工業者に依頼				
④ 加盟しているフランチャイズ本部に依頼				
⑤ 断熱材のメーカー又は問屋に依頼				
⑥ 窓のメーカー又は問屋に依頼				
⑦ 設備のメーカー又は問屋に依頼				
⑧ 製材のプレカット業者又は問屋に依頼				
⑨ その他 ()				

- 問3. 各住宅の基準適合確認の方法について、当初は仕様基準の活用を想定していたが、性能基準（計算）へ変更したケースはありますか。また、その反対のケースはありますか。それぞれ該当がある場合は○を記入してください。

＜仕様基準⇒性能基準（計算）へ変更したケース、性能基準（計算）⇒仕様基準へ変更したケース＞

↓変更したケースがある場合は○を記入（複数選択可）

① 仕様基準→性能基準（計算）への変更	
② 性能基準（計算）→仕様基準への変更	

○を記入された項目について、変更の理由を教えてください。

①仕様基準→性能基準（計算）への変更	
②性能基準（計算）→仕様基準への変更	

【問4に続きます】

問4-1. 性能基準（計算）と仕様基準それぞれについて、ご意見があれば教えてください。

例）マニュアルの記載を充実してほしい。

①性能基準（計算）

--

②仕様基準

--

③その他

--

問4-2. 外皮性能又は一次エネルギー消費性能を高めることが難しいと感じた経験はありますか。難しいと感じたことがある場合は○をご記入ください。

＜外皮性能や一次エネルギー消費性能を高めることが難しいと感じた経験＞

	難しいと感じたことがある場合は○を記入
①外皮性能を高めることについて	
②一次エネルギー消費性能を高めることについて	

○を記入された項目について 具体例をご記入ください

「①外皮性能を高めること」について難しいと感じたこと（自由回答） 例）コストへの影響が大きく、断念した。
「②一次エネルギー消費性能を高めること」について難しいと感じたこと（自由回答） 例）コストへの影響が大きく、断念した。

●問5・問6は、令和6年度に着工した新築住宅についてお伺いします。

問5. 令和6年度に着工した戸数を、戸建住宅と共同住宅に分けて（戸建住宅は太陽光発電を設置した戸数、共同住宅は棟数も併記）をご記入ください。

＜令和6年度の着工戸数＞

【戸建住宅】

うち、太陽光発電設置

戸

【共同住宅】

棟
戸

※問5で、「戸建住宅・共同住宅ともに戸数が0戸」と回答された方は、
以上で終了になります

「0戸」以外の方は、【問6 に続きます】

住宅の省エネルギー性能等の調査 調査票（４／６）

元請けとして供給

【問６（調査票４／６～６／６）の記入方法】

- 問５で回答した、令和６年度に着工した新築住宅※についてご回答ください。
※ 住宅トップランナー制度（建売、注文、賃貸）で報告済みの住宅については、本調査の対象外です。
- 「建設地域と着工戸数（共同住宅は棟数も併記）」「住宅属性」「断熱工法と断熱仕様等」「設備仕様」をご記入ください。
- 仕様数が複数ある場合は、本「住宅の省エネルギー性能等の調査 調査票（４／６～６／６）」をコピーしてご記入いただくか、Excel版を下記URLよりダウンロードしてご記入ください。

Excel版 <https://www.nikken-ri.com/shouenechousa.html>

- 断熱仕様と設備仕様の組合せが多数あり、ご回答が難しい場合は、代表的な仕様（着工戸数の多い組合せ仕様）で、まとめていただいても構いません。

問６. 令和６年度に着工した新築住宅についてご回答ください。

仕様番号は、「建設地域と着工戸数」「住宅属性」「断熱工法と断熱仕様等」「設備仕様」の組合せごとに番号を分けてご記入ください。

仕様番号：

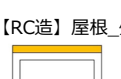
設問項目	選択肢	回答欄
建設地域と着工戸数		
①	省エネ基準の地域の区分と着工戸数	この仕様番号について省エネ基準の地域の区分をご記入ください。 1. 1地域 2. 2地域 3. 3地域 4. 4地域 5. 5地域 6. 6地域 7. 7地域 8. 8地域 ※別紙１「省エネ基準の地域の区分」参照 この仕様番号で選択した省エネ基準の地域の区分の着工戸数（共同住宅は棟数も併記）をご記入ください。 棟数 戸数 棟 戸
住宅属性		
②	建物用途	1. 専用住宅 2. 併用住宅 (住宅と店舗、事務所、作業場等の併用) (いずれか１つ)
③	建て方・利用関係	1. 戸建注文 2. 戸建建売 3. 戸建その他(貸家、給与住宅など) 4. 共同分譲(住戸単位で販売する共同住宅) 5. 共同賃貸 6. 共同その他(持家、給与住宅など) (いずれか１つ)
④	住戸タイプ (想定居住者)	1. 単身タイプ 2. ファミリータイプ 3. その他(単身・ファミリー混在など) (いずれか１つ)
⑤	建物の階数	1. 1階建て 2. 2階建て 3. 3階建て 4. 4～5階建て 5. 6～20階建て 6. 21階以上 (いずれか１つ)
⑥	戸建住宅の規模 または 共同住宅の規模	1. 300㎡未満 2. 300㎡以上2,000㎡未満 3. 2,000㎡以上 (いずれか１つ)
⑦	構造(工法)	1. 木造(在来軸組) 2. 木造(在来軸組以外) 3. S造(鉄骨造) 4. RC造(鉄筋コンクリート造) 5. SRC造(鉄骨鉄筋コンクリート造) 6. CB造(コンクリートブロック造) 7. その他 (いずれか１つ)

【次頁に続きます】

住宅の省エネルギー性能等の調査 調査票（5 / 6）

元請けとして供給

仕様番号：

断熱工法と断熱仕様等		※Step 1：断熱工法を選択肢より選択し、 各回答欄（Step 1の欄） にご記入ください。 ※Step 2：その断熱工法における断熱仕様（種類と断熱材の厚み）についてご回答ください。「種類」を別紙2「断熱材の選択肢」より選択し、 各回答欄（Step 2の欄） にご記入いただき、対応する「断熱材の厚み」はその右の記載箇所にご記入ください。また、各断熱部位に断熱材を複数重ねて施工する場合は主たる断熱材を記入してください。 （別紙2の内容は前回調査より変更されていますのでご注意ください） ※Step 3：分かる場合のみ部位の熱貫流率U〔W/m ² ・K〕を 各回答欄（Step 3の欄） にご記入ください。 （建設地などで断熱仕様が異なる場合は、調査票をコピーまたはダウンロードして別仕様として記入してください。）	
⑧	屋根又は天井 （上部）	1. 【木・S造】天井_充填断熱  2. 【木・S造】屋根_充填断熱  3. 【木・S造】屋根_外張断熱  4. 【木・S造】屋根_充填+外張併用断熱  5. 【RC造】屋根_内断熱  6. 【RC造】屋根_外断熱  7. その他(断熱なしも含む)	Step 1 断熱工法 (いずれか1つ) Step 2 断熱仕様 (複数重ねて施工する場合は主たる断熱材を記入) (4.の外張断熱以外) 種類 断熱材の厚み mm (4.の外張断熱) 種類 断熱材の厚み mm Step 3 部位の熱貫流率U W/m ² ・K
⑨	外壁	1. 【木・S造】充填断熱  2. 【木・S造】外張断熱  3. 【木・S造】充填+外張併用断熱  4. 【RC造】内断熱  5. 【RC造】外断熱  6. その他(断熱なしも含む)	Step 1 断熱工法 (いずれか1つ) Step 2 断熱仕様 (複数重ねて施工する場合は主たる断熱材を記入) (3.の外張断熱以外) 種類 断熱材の厚み mm (3.の外張断熱) 種類 断熱材の厚み mm Step 3 部位の熱貫流率U W/m ² ・K
⑩	床又は基礎 （下部）	1. 【木・S造】床_充填断熱  2. 【木・S造】基礎_内側断熱  3. 【木・S造】基礎_外側断熱  4. 【RC造】床_内断熱  5. 【RC造】床_外断熱  6. 【RC造】基礎_内側断熱  7. 【RC造】基礎_外側断熱  8. その他(断熱なしも含む)	Step 1 断熱工法 (いずれか1つ) Step 2 断熱仕様 (複数重ねて施工する場合は主たる断熱材を記入) 種類 断熱材の厚み mm Step 3 部位の熱貫流率U W/m ² ・K
⑪	界壁	※共同住宅の場合のみ回答してください。 ※界壁、界床の断熱仕様（種類と断熱材の厚み）について「種類」を別紙2「断熱材の選択肢」より選択しご記入いただき、対応する「断熱材の厚み」はその右の記載箇所にご記入ください。（断熱工法の内容は不要です） （別紙2の内容は前回調査より変更されていますのでご注意ください。）	界壁の断熱仕様（いずれか1つ） 種類 断熱材の厚み mm
⑫	界床	界床の断熱仕様（いずれか1つ） 種類 断熱材の厚み mm	界床の断熱仕様（いずれか1つ） 種類 断熱材の厚み mm
⑬	RC造の構造熱橋部の断熱補強仕様 ※RC造の場合のみ回答	※別紙3「RC造の断熱補強仕様」参照 1. 断熱補強仕様1 2. 断熱補強仕様2 3. 断熱補強なし	(いずれか1つ)
⑭	窓 (LDに設置しているもの)	※窓の仕様について別紙4「ガラスの選択肢」より1つ記入してください。 （別紙4の内容は前回調査より変更されていますのでご注意ください。） ※窓の熱貫流率U〔W/m ² ・K〕を分かる場合のみご記入ください。	窓の仕様（いずれか1つ） 窓の熱貫流率U W/m ² ・K
⑮	ドア	※ドアの仕様について別紙5「ドアの選択肢」より1つ記入してください。 （別紙5の内容は前回調査より変更されていますのでご注意ください。） ※ドアの熱貫流率U〔W/m ² ・K〕を分かる場合のみご記入ください。	ドアの仕様（いずれか1つ） ドアの熱貫流率U W/m ² ・K

【次頁に続きます】

住宅の省エネルギー性能等の調査 調査票（6／6）

元請けとして供給

仕様番号：

断熱工法と断熱仕様等 続き（8地域のみ）		※⑭ _A と⑭ _B は地域区分が8地域の場合のみご回答ください	
⑭ _A	窓の付属部材等 (1ヶ所以上に設置しているもの)	※別紙7「窓の付属部材等」参照 1. 外付けブラインド 2. 外付けの付属部材等(外付けブラインド以外)	3. 内付けの付属部材 4. 設置なし
⑭ _B	日射遮蔽対策 (1ヶ所以上に設置しているもの)	1. 花ブロック 2. 屋根通気ブロック 3. 軒・庇・雨端	4. 白色系塗料又は遮熱塗料 5. その他の日射遮蔽対策 6. 日射遮蔽対策なし

設備仕様			※注記なき場合は、選択肢より1つだけ選択し、回答欄に記入してください。 ※それぞれの設備について、①設置しない場合、又は、②新築着工時に設置しておらず、入居者の入居後に設置する場合には、「1. 設置なし」を選択してください。			回答欄		
						主たる居室 (LDK)	その他の居室 (寝室・子供室・和室・書斎等)	非居室 (浴室・洗面・トイレ・玄関等)
⑮	暖房設備の種類	暖房設備の種類	※室別に、最もよく使うものを選択肢より1つだけ選択してください。 1. 設置なし 2. ダクト外式セントラル空調機(ヒートポンプ式熱源) 3. ルームエアコン 4. FF暖房機 5. 温水暖房(放熱器：パネルラジエーター) →⑰へ 6. 温水暖房(放熱器：ファンコイル) →⑰へ 7. 温水暖房(放熱器：温水床暖房) →⑰へ 8. 電気ヒーター式床暖房 9. 電気蓄熱式暖房器 10. ルームエアコン付温水床暖房機 11. その他の暖房設備機器 12. 設問対象の室が存在しない			主たる居室 (いずれか1つ)	その他の居室 (いずれか1つ)	非居室 (いずれか1つ)
		温水暖房器の種類 ※⑮で5～7の温水暖房を選択した場合のみ回答	※室別に、選択肢より1つだけ選択してください。 1. 設置なし 2. ガス従来型温水暖房機 3. ガス潜熱回収型温水暖房機(エコジョーズ等) 4. 石油従来型温水暖房機 5. 石油潜熱回収型温水暖房機(エコフィール等) 6. 電気ヒーター温水暖房機 7. 電気ヒートポンプ温水暖房機(ポンプ系冷媒) 8. 電気ヒートポンプ・ガス(エコ等) 9. コージェネ(エコイル、エコアーム等) 10. その他の温水暖房機 11. 設問対象の室が存在しない			主たる居室 (いずれか1つ)	その他の居室 (いずれか1つ)	非居室 (いずれか1つ)
⑯	冷房設備の種類		※室別に、選択肢より1つだけ選択してください。別紙6「ルームエアコン区分」参照 1. 設置なし 2. ダクト外式セントラル空調機(ヒートポンプ式熱源) 3. ルームエアコン区分(い) 4. ルームエアコン区分(ろ) 5. ルームエアコン区分(は) 6. ルームエアコン・区分不明 7. その他の冷房設備機器 8. 設問対象の室が存在しない			主たる居室 (いずれか1つ)	その他の居室 (いずれか1つ)	非居室 (いずれか1つ)
⑰	換気設備の種類		1. ダクト式DCファン無、熱交換無 2. ダクト式DCファン有、熱交換無 3. ダクト式DCファン無、熱交換有 4. ダクト式DCファン有、熱交換有 5. 壁付け式、熱交換無 6. 壁付け式、熱交換有 7. その他の換気設備			(いずれか1つ)		
⑱	給湯設備の種類		1. ガス従来型給湯機 2. ガス潜熱回収型給湯機(エコジョーズ等) 3. 石油従来型給湯機 4. 石油潜熱回収型給湯機(エコフィール等) 5. 電気ヒーター温水器 6. 電気ヒートポンプ給湯機(エコヒート等) 7. 昼間沸上げ機能のある電気ヒートポンプ給湯機 8. 電気ヒートポンプ・ガス(エコ等) 9. コージェネ(エコイル、エコアーム等) 10. その他の給湯設備			(いずれか1つ)		
⑳ _A	浴槽の有無		※地域区分が8地域の場合のみご回答ください 1. なし 2. あり			(いずれか1つ)		
㉑	太陽熱温水器の採用		1. なし 2. あり			(いずれか1つ)		
㉒	照明設備の種類		※室別に、選択肢より1つだけ選択してください。 1. 設置なし 2. 全てLEDを使用している 3. 全て白熱灯以外を使用している 4. 1つ以上の白熱灯を使用している 5. 設問対象の室が存在しない			主たる居室 (いずれか1つ)	その他の居室 (いずれか1つ)	非居室 (いずれか1つ)
㉓	太陽光発電の採用		1. なし 2. あり			(いずれか1つ)		

以上で終了です。調査へのご協力、ありがとうございました。